

第 30 回 中小企業景況調査 (平成 23 年 7 月 9 月)

《調査結果の要約》

中小企業の業況は、改善しつつあります。

- ・全業種の業況判断 D I は、前期に比べマイナス幅が縮小しました。(43.4 33.9)
- ・業種別にみると、以下のとおりです。
3 カ月前から好転 : 建設業、小売業(最寄品)、小売業(買回品)、飲食業
3 カ月前から悪化 : 製造業、サービス業

1. 全業種の業況判断 D I は、 33.9 (3 カ月前と比べ +9.5 ポイント) とマイナス幅が縮小しました。
2. 設備投資件数は、17 件 (3 カ月前と比べ 3 件) となりました。1 年前の 19 件との比較でも減少しました。
3. 経営上の問題点(回答社数に対する比率)は、 需要の停滞 : 63% (3 カ月前と比べ +2 ポイント)(74 社) 利用者ニーズの変化 : 26% (3 カ月前と比べ +6 ポイント)(31 社) 販売単価の低下・上昇難 : 25% (3 カ月前と比べ 2 ポイント)(30 社) の順です。

中小企業の景況トピックス

- ・国内全産業の業況判断 D I は、 26.6 (3 カ月前と比べ +8.2 ポイント) とマイナス幅が縮小しました。地域別に業況判断 D I (全産業) をみると、すべての地域でマイナス幅が縮小しました。 製造業、非製造業ともに業況判断 D I は、マイナス幅が縮小しました。
- ・神奈川県全産業の業況判断 D I は、 50.5 (3 カ月前と比べ +5.8 ポイント) とマイナス幅が縮小しました。震災の影響により低下した電気機械、輸送用機械が大幅に回復し、業種別では、製造業が上昇、商業・サービス業がやや上昇、建設業がやや下降しました。

* 国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成23年10月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	13	12	17	23	29	24	118
回答率	86.7%	80.0%	73.9%	76.7%	78.4%	80.0%	78.7%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式(一部経営指導員による聞き取り)

4. 調査項目

- (1). DIの状況について
 自社の業況 売上額 資金繰り 採算 従業員数
- (2). 設備投資について
- (3). 経営上の問題点について

5. 調査データについて

- (1). DI：Diffusion Index(デフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。
 各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。
- (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。
 - ・四半期；1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」
 - ・前期比；3ヵ月前（今回は6か月前）との比較
 - ・前年同期比；1年前との比較

< DI計算例 >

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30%
 の場合、次のような計算になります。

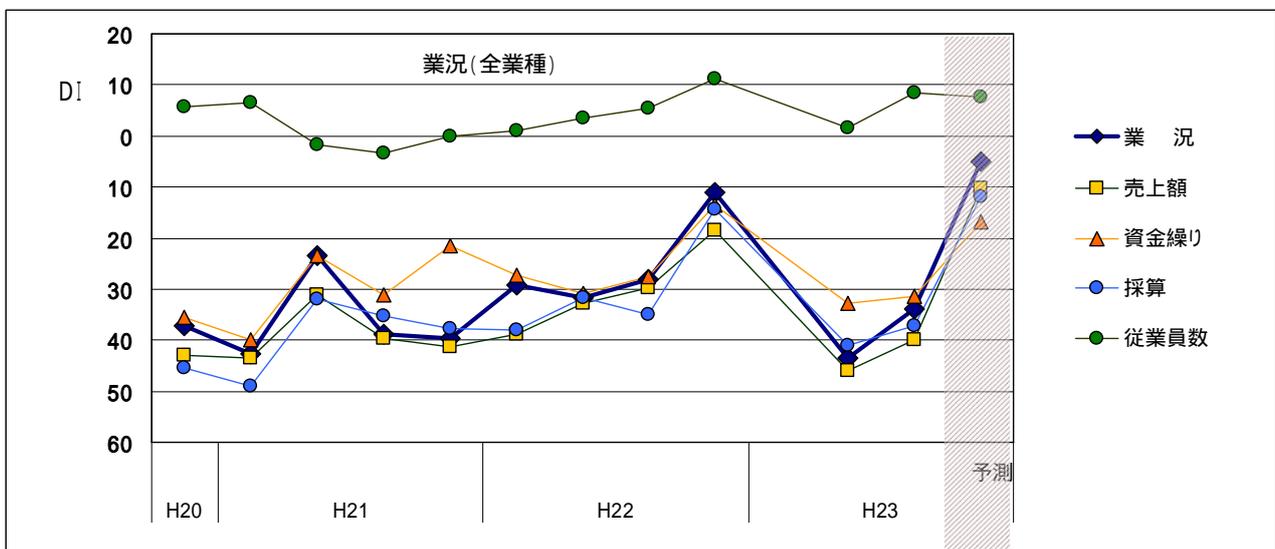
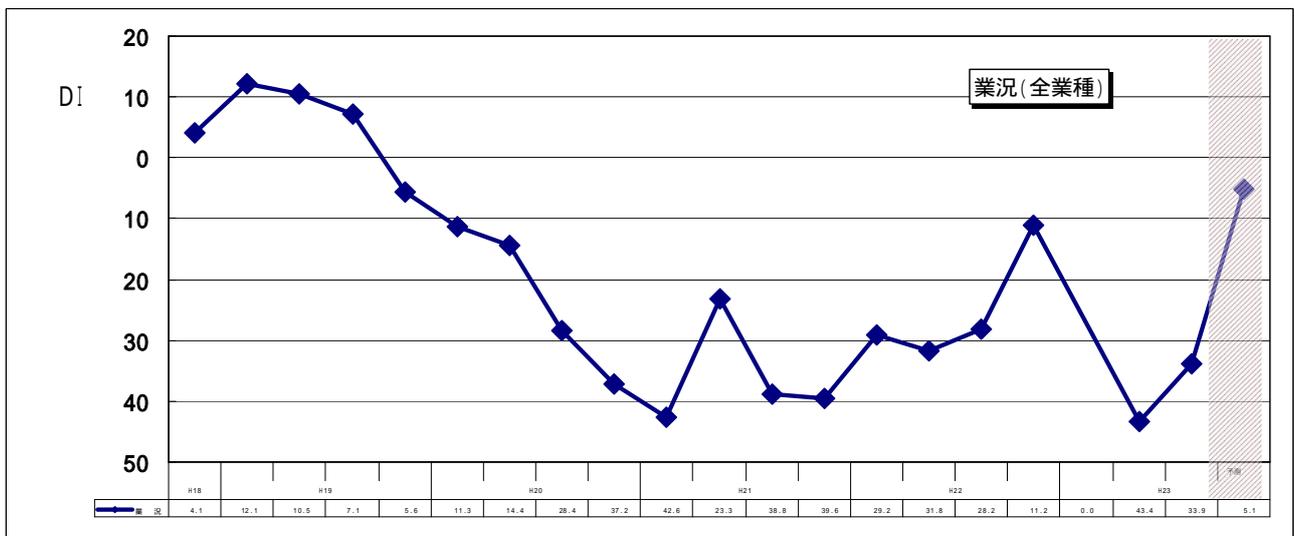
$$\begin{aligned}
 DI &= 50 - 30 \\
 &= 20
 \end{aligned}$$

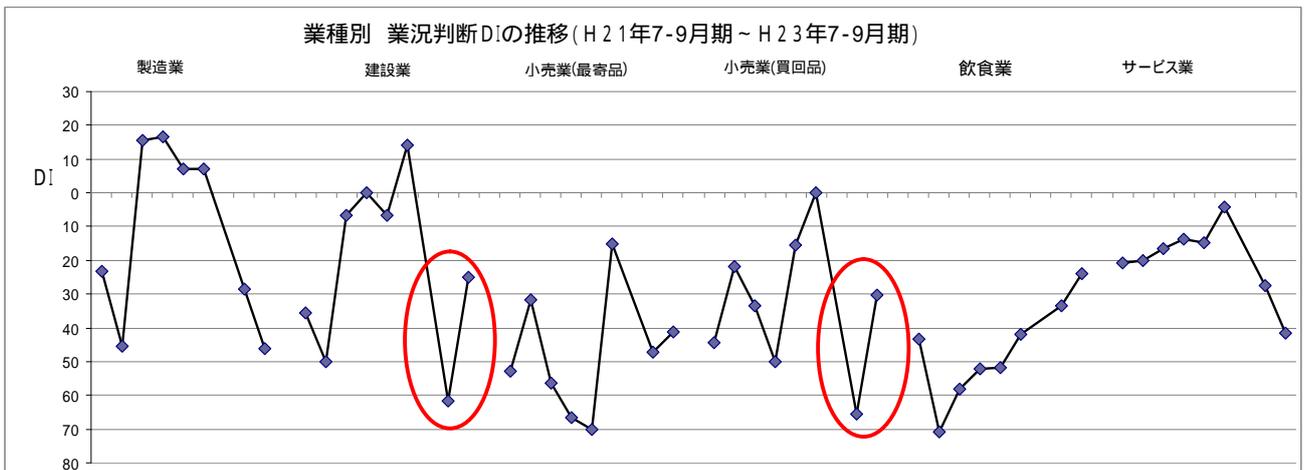
《調査結果》

・全業種

業況 DI

- ・全業種の業況判断 DI は 33.9（前期比+9.5 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 5.1 と改善の見通しです。
 - ・売上 DI は 39.8（前期比+6.1 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 10.2 と改善の見通しです。
 - ・資金繰り DI は 31.4（前期比+1.4 ポイント）とわずかにマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 16.9 と改善の見通しです。
 - ・採算 DI は 37.3（前期比+3.7 ポイント）とわずかにマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 11.9 と改善の見通しです。
 - ・従業員数 DI は +8.5（前期比+6.8 ポイント）と人手不足感が拡大し、3 カ月先は +7.6 と人手不足感が引き続き横ばいの見通しです。
- ・業種別の業況判断 DI は、製造業、サービス業でマイナス幅が拡大して悪化、建設業、小売業（買回品）、小売業（最寄品）、飲食業でマイナス幅が縮小し、改善しました。



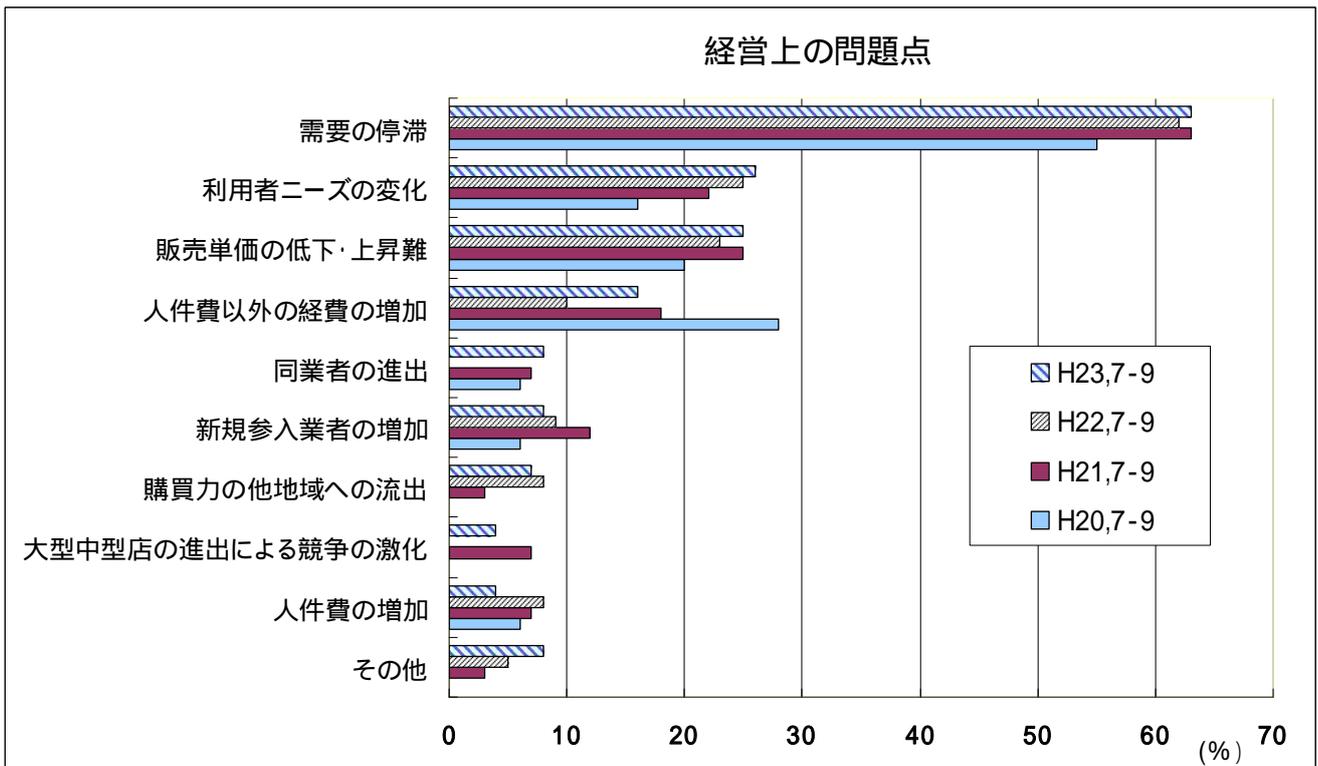


設備投資の動向

- ・設備投資件数は、17件(3カ月前と比べ3件)となりました。1年前の19件との比較でも減少しました。内訳の上位は、建物5件、OA機器4件、車両運搬具4件です。

経営上の問題点

- ・経営上の問題点は、 需要の停滞：63% (74社)、 利用者ニーズの変化：26% (31社)、 販売単価の低下・上昇難：25% (30社)の順です。

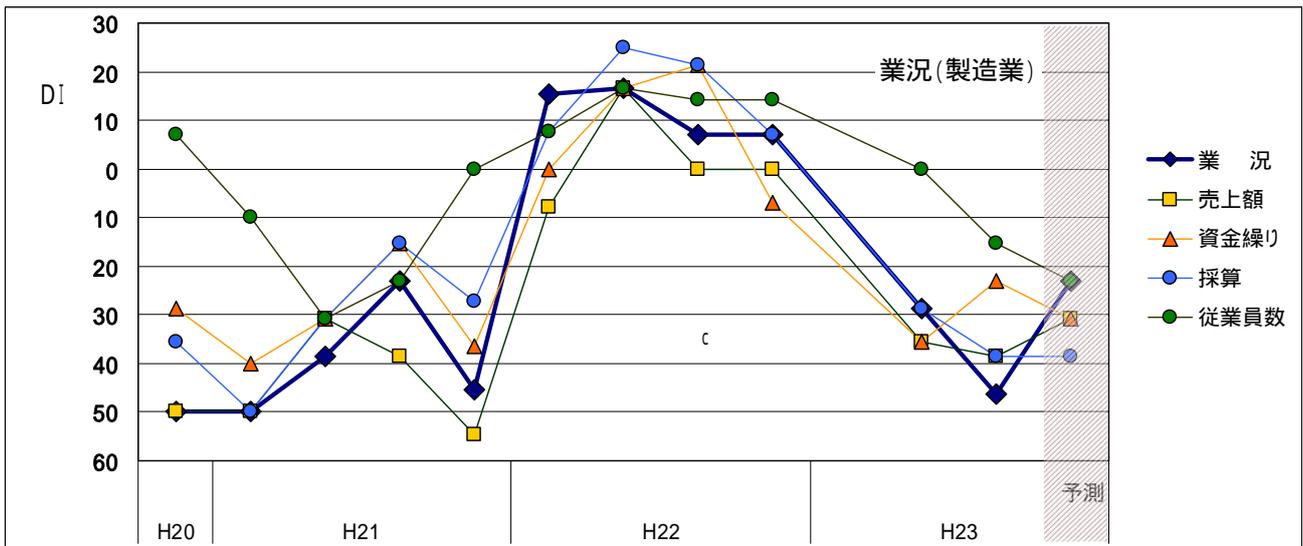


業種別

1. 製造業

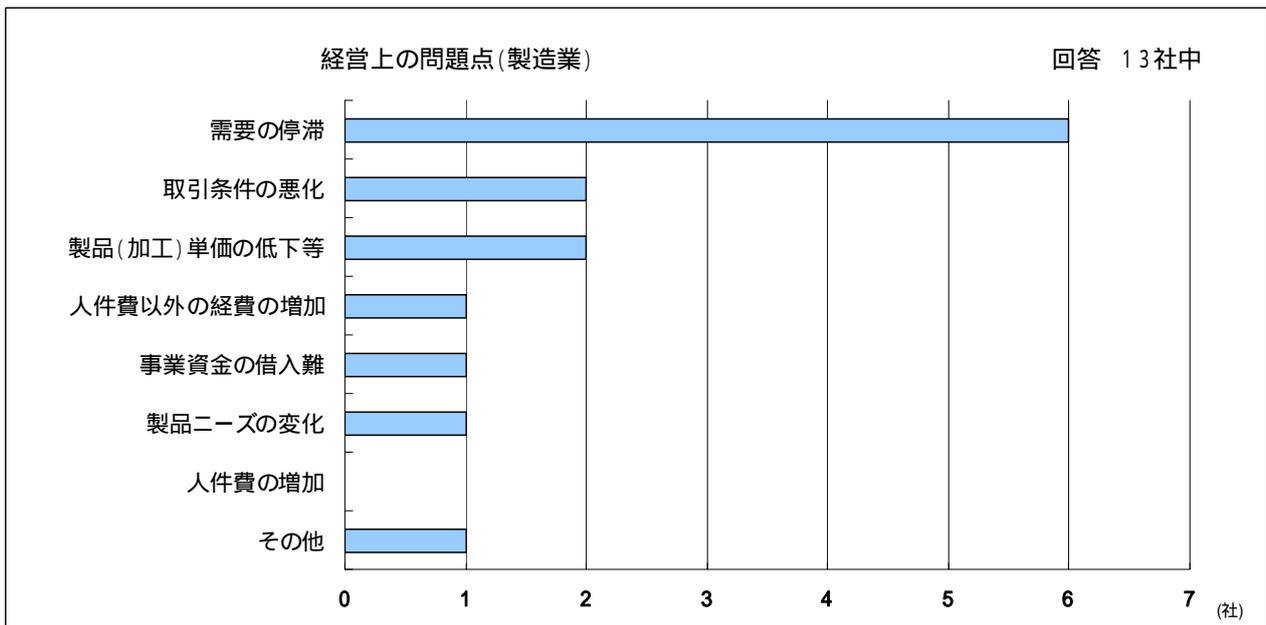
業況 DI

- ・業況判断 DI は 46.2 (前期比 17.6 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 23.1 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 38.5 (前期比 2.7 ポイント) とわずかにマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 30.8 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 23.1 (前期比 +12.6 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 30.8 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は 38.5 (前期比 9.9 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 38.5 と横ばいの見通しです。
- ・従業員数 DI は 15.4 (前期比 15.4 ポイント) と人手過剰感が拡大し、3 ヶ月先は 23.1 と人手過剰感がさらに拡大の見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はOA 機器 1 件、機械設備 1 件です。

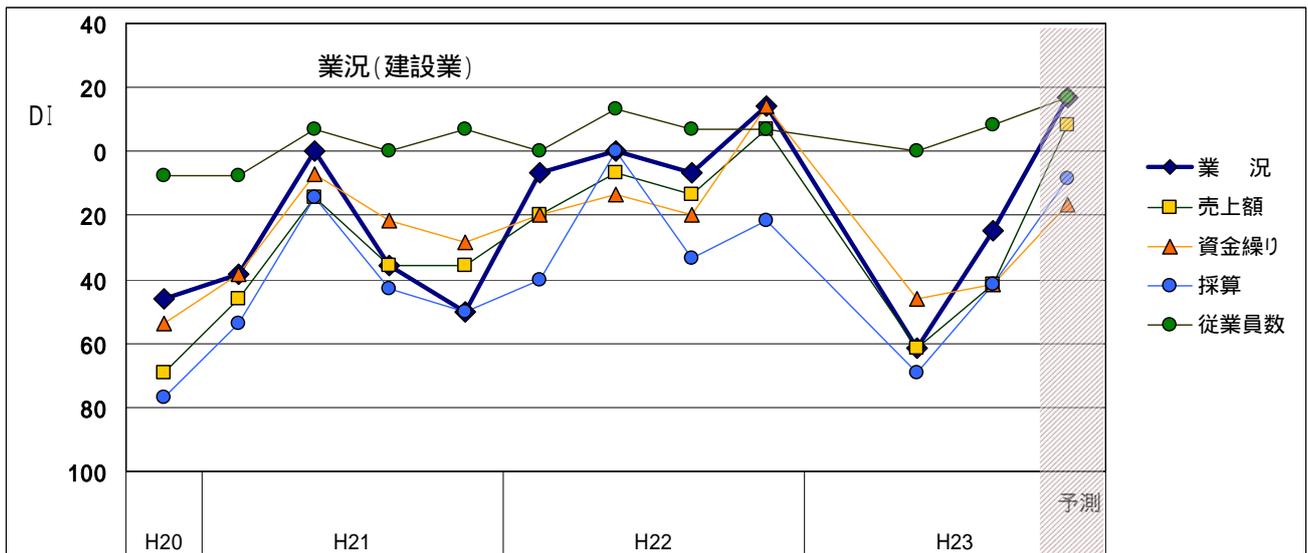
経営上の問題点



2. 建設業

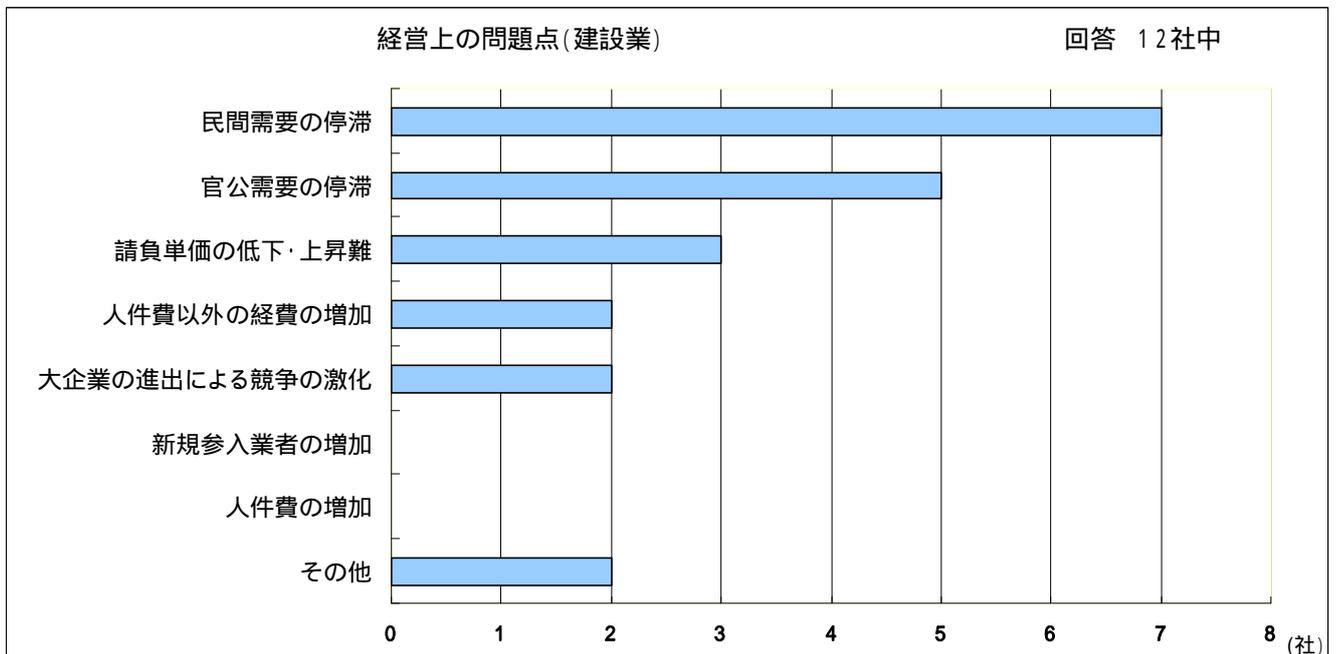
業況 DI

- ・業況判断 DI は 25.0 (前期比 +36.5 ポイント) とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は +16.7 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 41.7 (前期比 +19.9 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は +8.3 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 41.7 (前期比 +4.5 ポイント) とわずかにマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 16.7 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 41.7 (前期比 +27.6 ポイント) とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は 8.3 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は +8.3 (前期比 +8.3 ポイント) と人手不足感が生じ、3 カ月先は +16.7 と人手不足感が拡大する見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はOA機器1件、車両運搬具1件です。

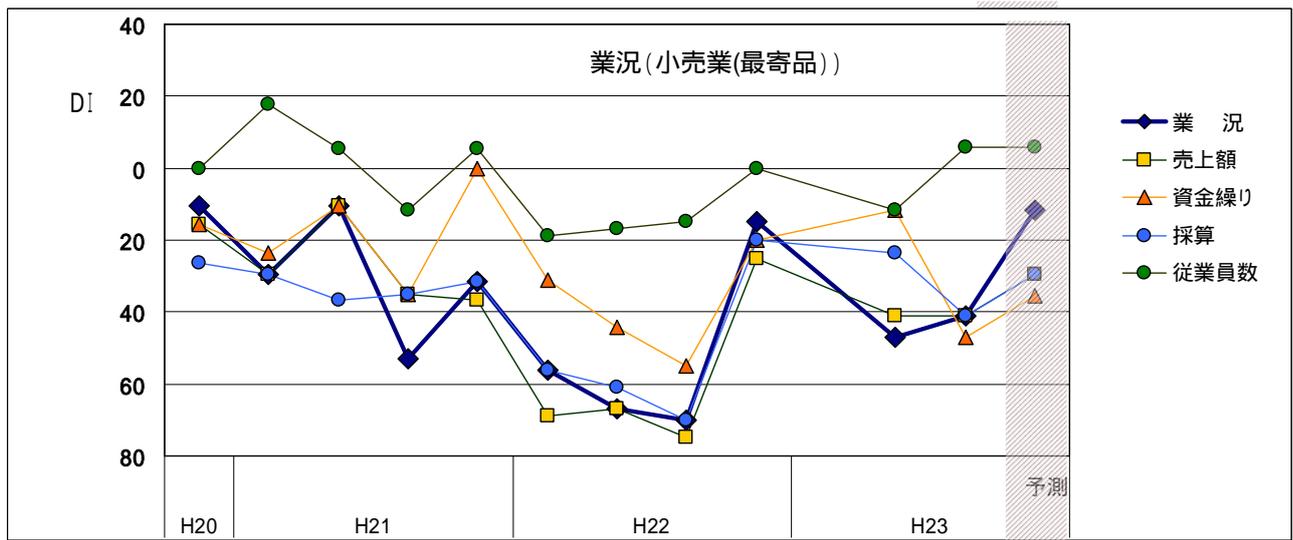
経営上の問題点



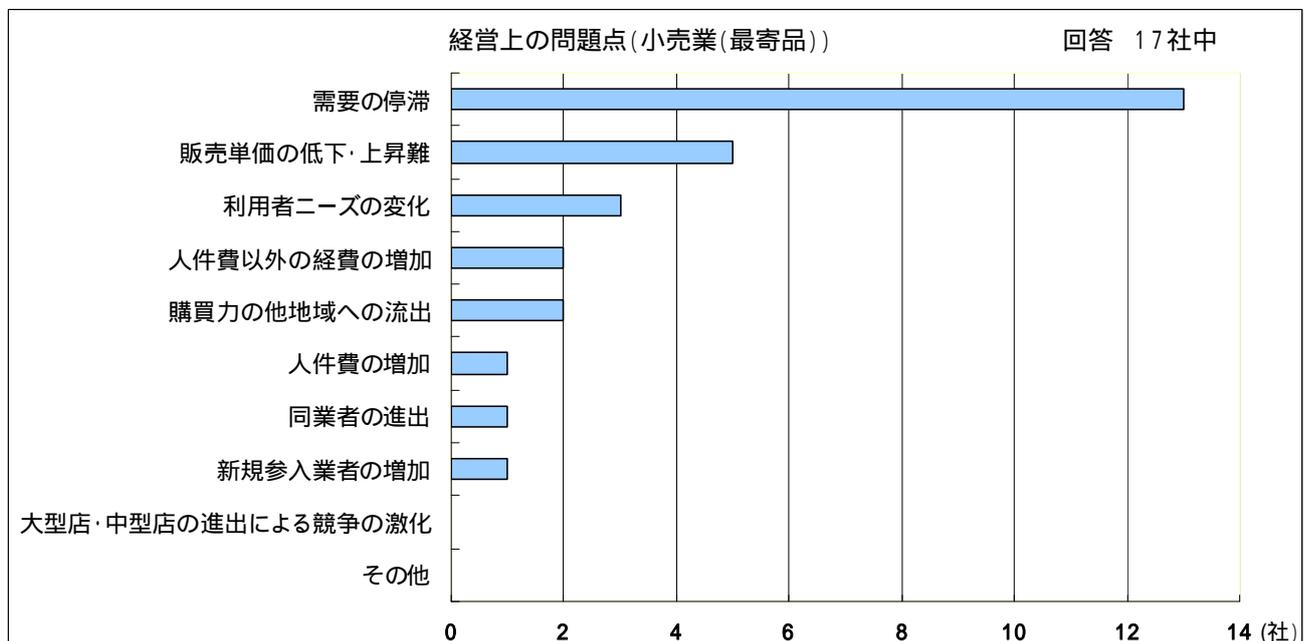
3. 小売業（最寄品）

業況 DI

- ・業況判断 DI は 41.2（前期比 +5.9 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 11.8 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 41.2（前期比 ±0 ポイント）とマイナス水準で推移し、3 カ月先は 29.4 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 47.1（前期比 35.3 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 35.3 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 41.2（前期比 17.6 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 カ月先は 29.4 と改善の見通しです。
- ・従業員 DI は +5.9（前期比 +17.6 ポイント）と人手不足感が拡大しましたが、3 カ月先は +5.9 と横ばいの見通しです。



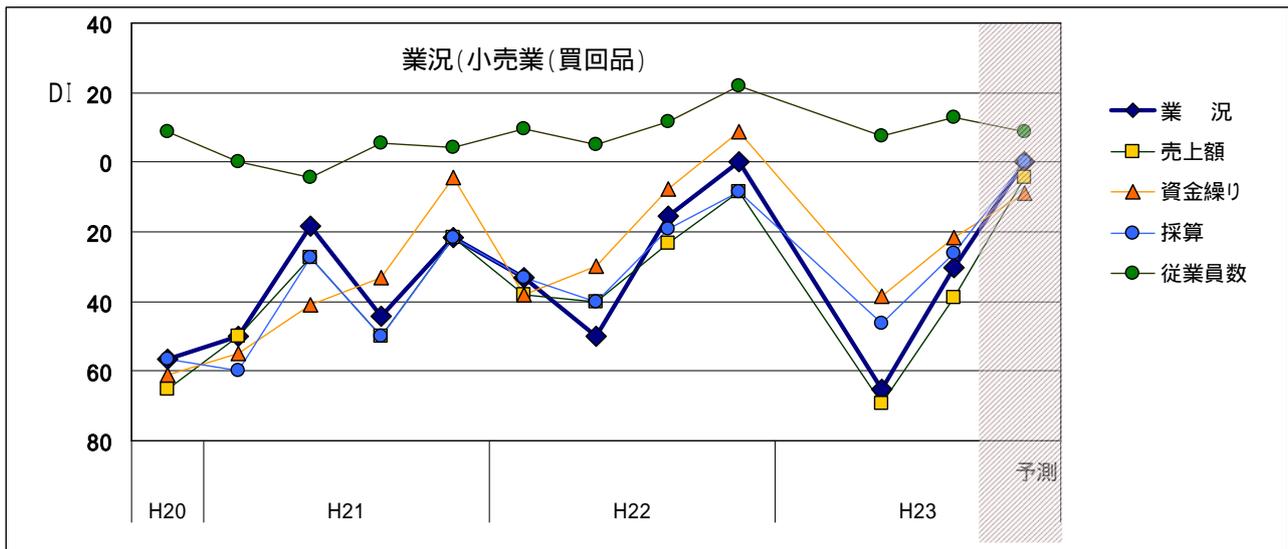
設備投資の動向 設備投資件数は車両運搬具 2 件、建物 2 件、その他 1 件です。
 経営上の問題点



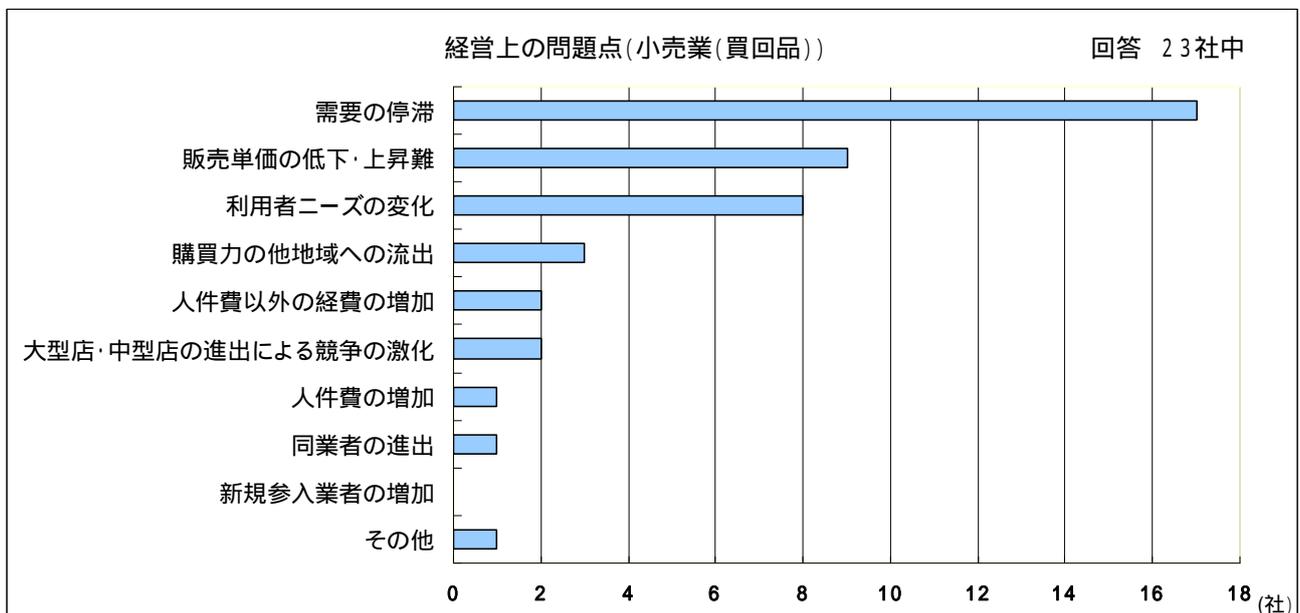
4. 小売業（買回品）

業況 DI

- ・業況判断 DI は 30.4（前期比 + 34.9 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は ±0 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 39.1（前期比 + 30.1 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は 4.3 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 21.7（前期比 + 16.7 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 8.7 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 26.1（前期比 + 20.1 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は ±0 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は +13.0（前期比 + 5.4 ポイント）と人手不足感が拡大し、3 カ月先は +8.7 と縮小の見通しです。



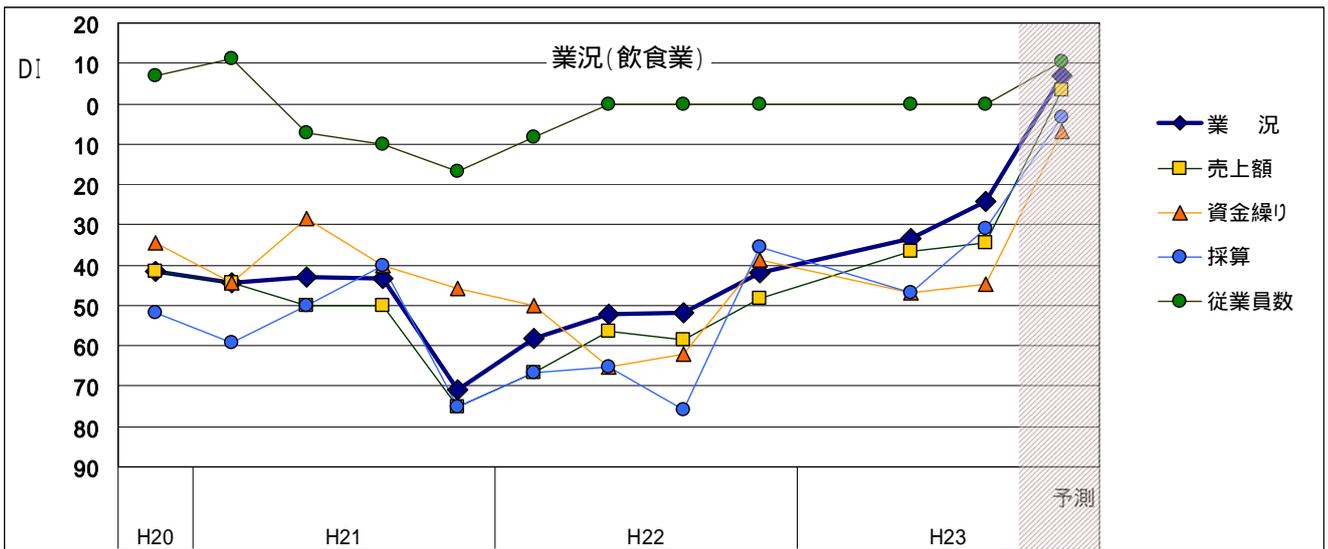
設備投資の動向 設備投資件数はOA機器、車両運搬具、建物各1件です。
 経営上の問題点



5. 飲食業

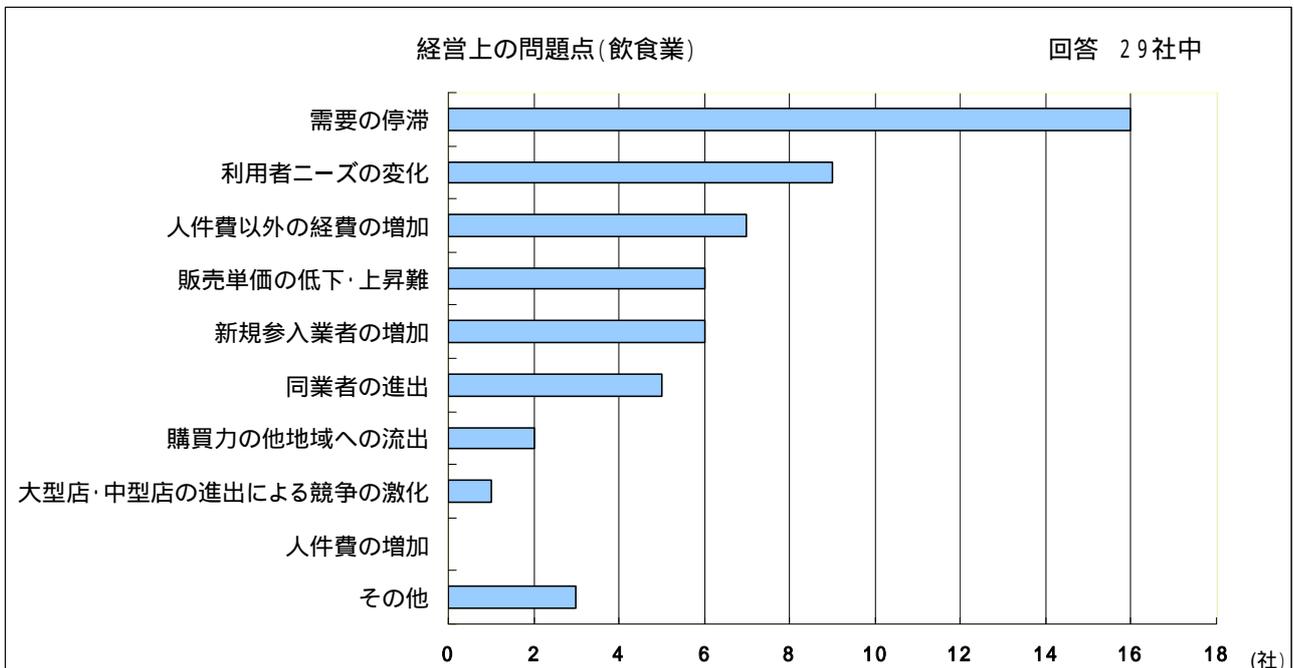
業況 DI

- ・業況判断 DI は 24.1 (前期比+9.2 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は+6.9 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 34.5 (前期比+2.2 ポイント) とわずかにマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は+3.4 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 44.8 (前期比+1.8 ポイント) とわずかにマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 6.9 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 31.0 (前期比+15.6 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 3.4 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は ±0 (前期比±0 ポイント) となり引き続き人手過不足感がない水準で推移し、3 ヶ月先は+10.3 と不足感が生じる見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は建物 1 件、その他 2 件です。

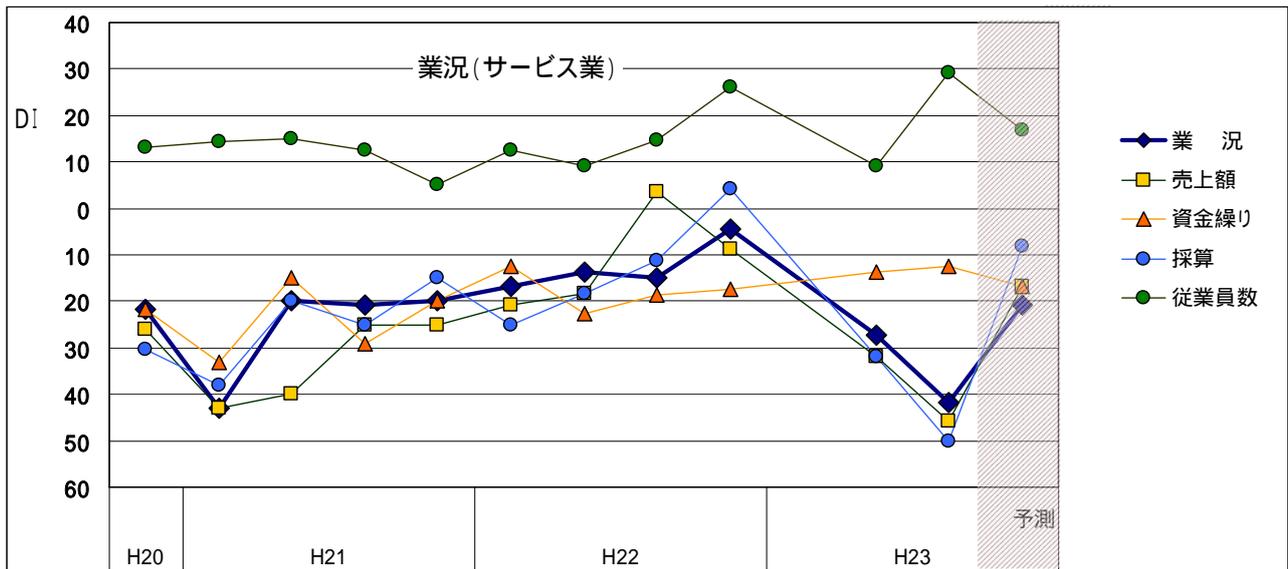
経営上の問題点



6. サービス業

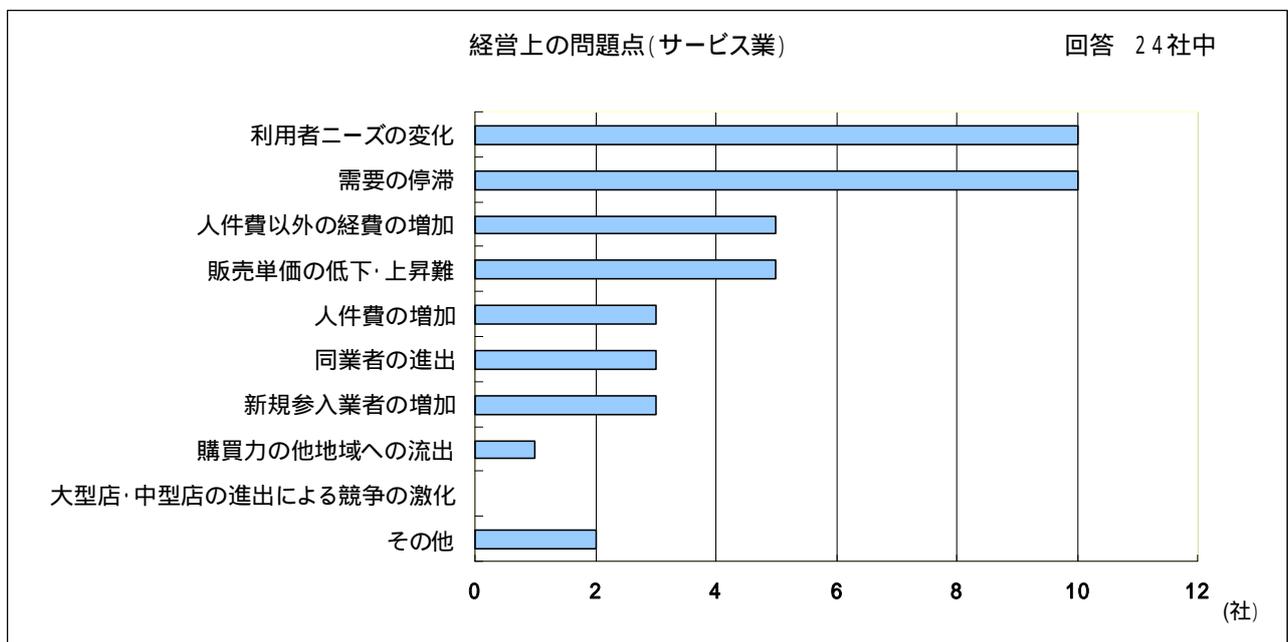
業況 DI

- ・業況判断 DI は 41.7 (前期比 14.4 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 20.8 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 45.8 (前期比 14.0 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 16.7 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 12.5 (前期比 +1.1 ポイント) とわずかにマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 16.7 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は 50.0 (前期比 18.2 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 8.3 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は +29.1 (前期比 +20.1 ポイント) と人手不足感が拡大し、3 ヶ月先は +16.7 と人手不足感が縮小する見通しです。



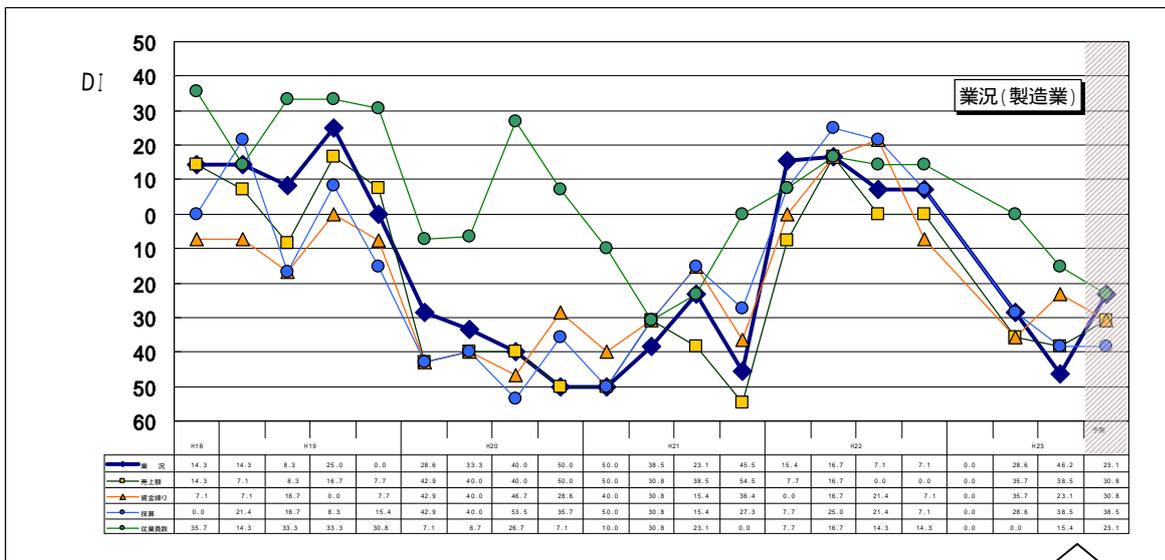
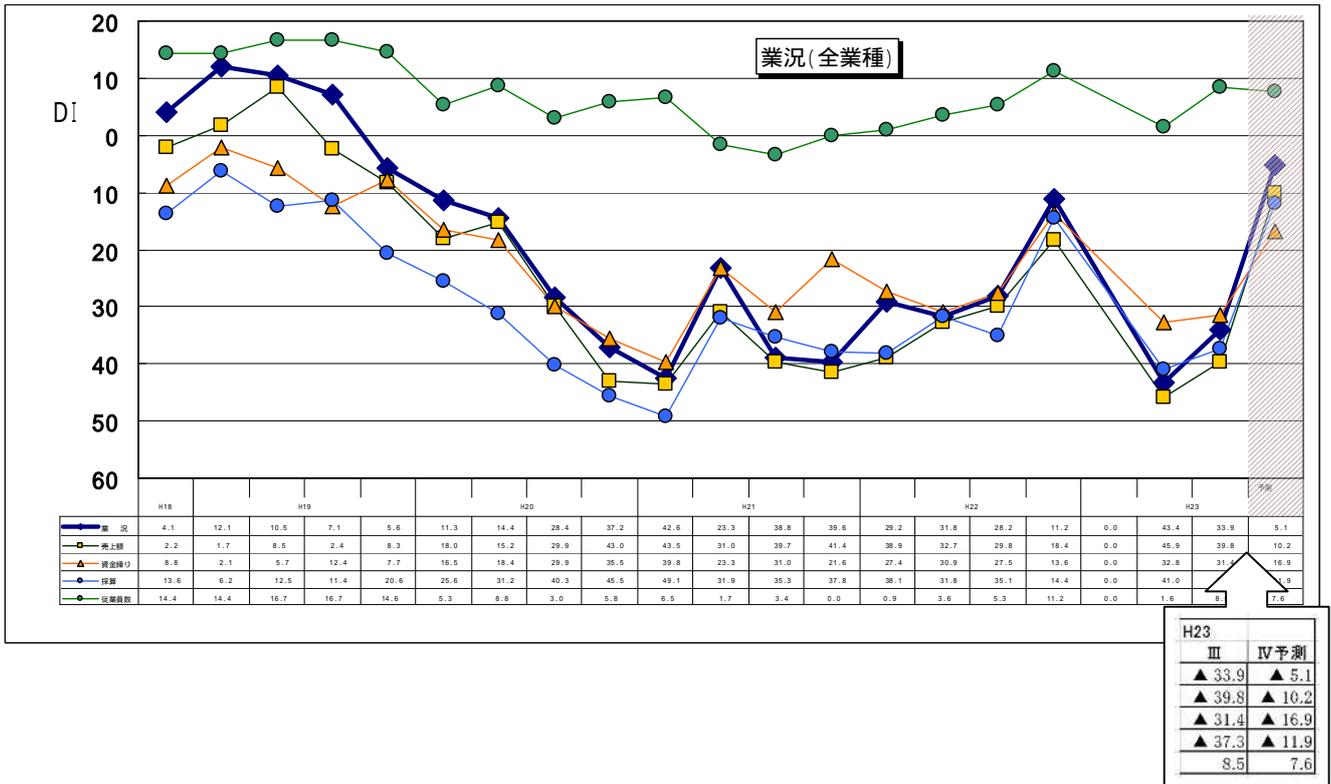
設備投資の動向 設備投資件はOA機器1件、建物1件です。

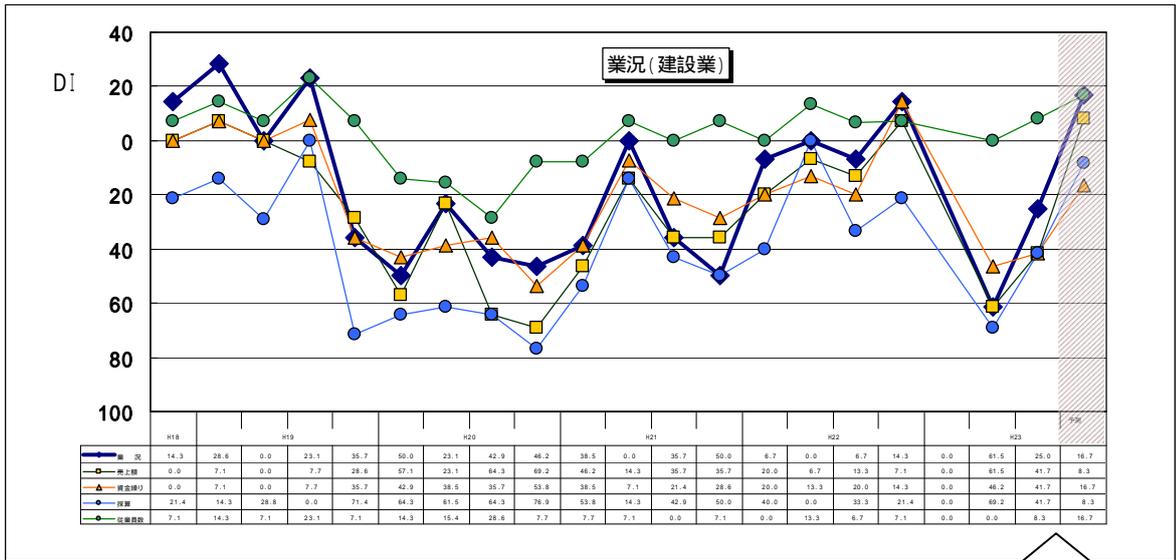
経営上の問題点



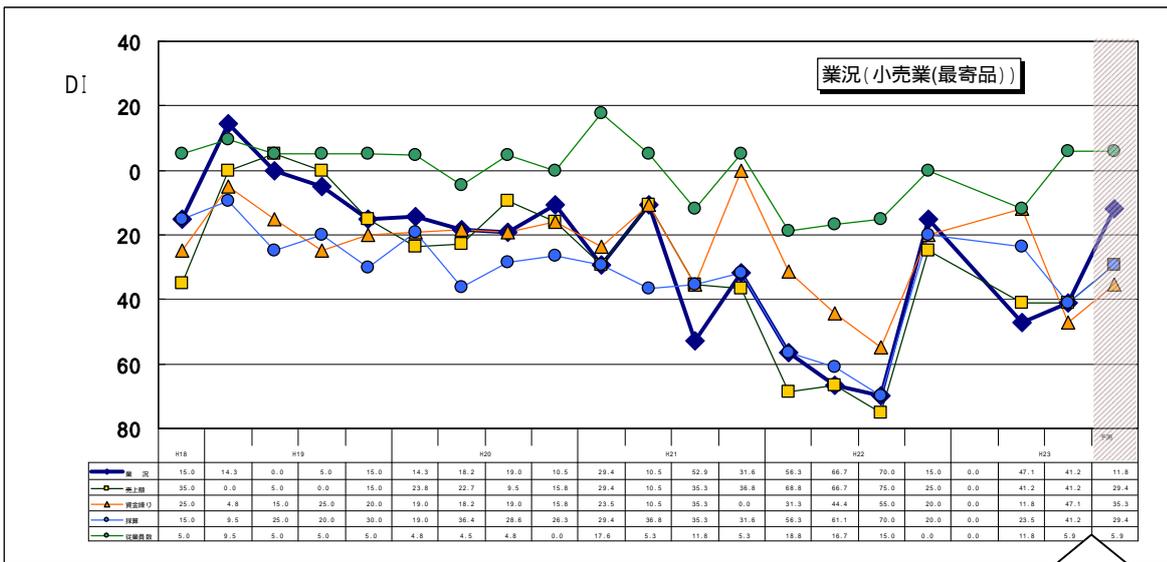
《資料》5年分の推移

業況

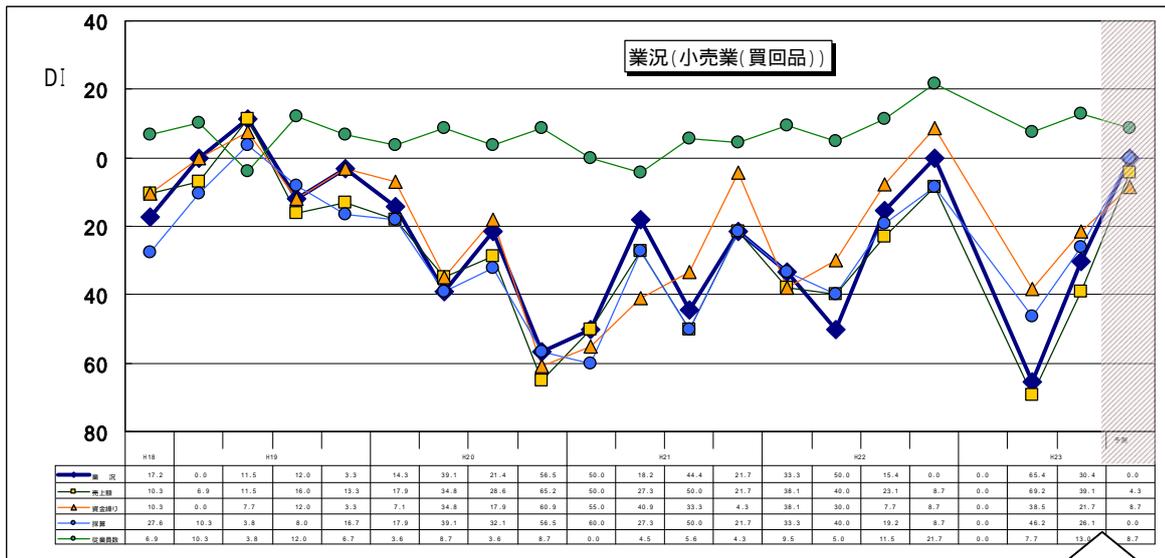




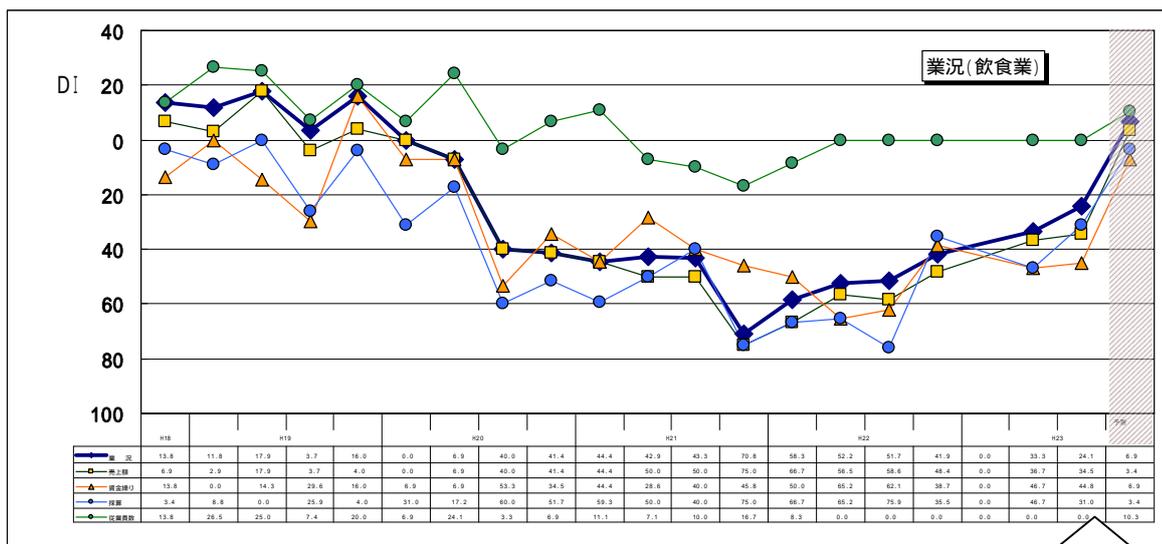
H23	
Ⅲ	Ⅳ予測
▲ 25.0	▲ 16.7
▲ 41.7	▲ 8.3
▲ 41.7	▲ 16.7
▲ 41.7	▲ 8.3
8.3	16.7



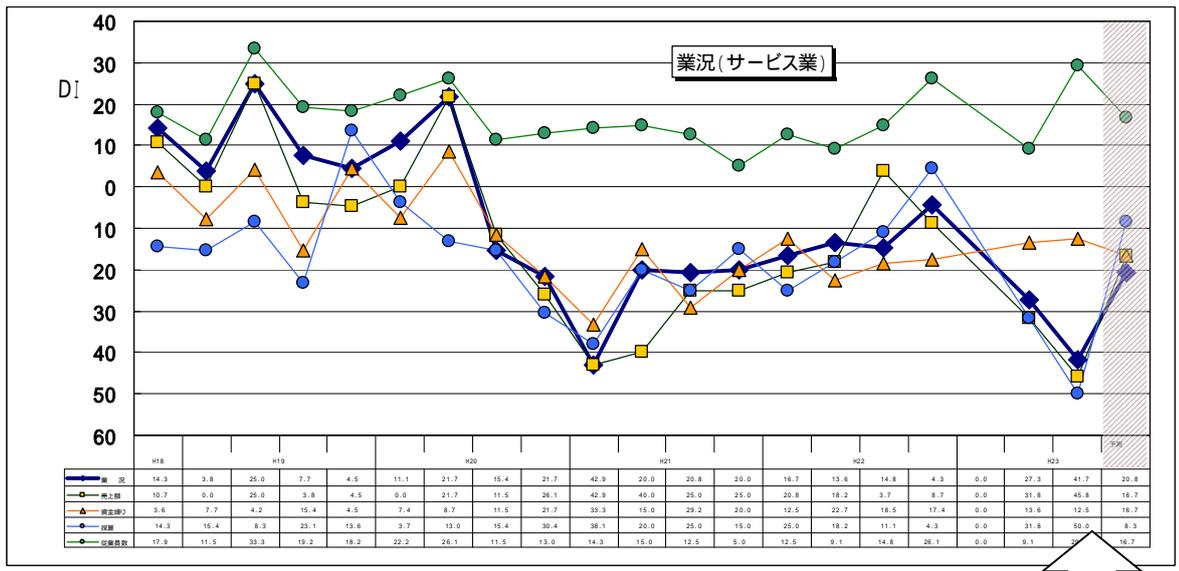
H23	
Ⅲ	Ⅳ予測
▲ 41.2	▲ 11.8
▲ 41.2	▲ 29.4
▲ 47.1	▲ 35.3
▲ 41.2	▲ 29.4
5.9	5.9



H23		III	IV 予測
▲	30.4		0.0
▲	39.1	▲	4.3
▲	21.7	▲	8.7
▲	26.1		0.0
	13.0		8.7



H23		III	IV 予測
▲	24.1		6.9
▲	34.5		3.4
▲	44.8	▲	6.9
▲	31.0	▲	3.4
	0.0		10.3



H23	
Ⅲ	Ⅳ予測
▲ 41.7	▲ 20.8
▲ 45.8	▲ 16.7
▲ 12.5	▲ 16.7
▲ 50.0	▲ 8.3
29.2	16.7

雑談コラム

中小企業にとって、外部からの人材確保は難しい課題です。そこで、従業員の能力向上を図ることになります。社内教育による人材育成です。特に企業の現場では、実技の技能向上が不可欠です。その場合、まず基礎教育が重要になります。ところが、この基礎教育というのが難題です。

「基礎教育！」、この言葉を聞くと「面白くない!」、「つまらない!」という声が聞こえてきます。今までどんな教育方法だったのでしょか? 「はい、テキスト ページを開いて~」、「では、今日は第一章・・・からです」。かつてどこかで聞いたような、そしていや~な思いが頭に浮かびます。どこで必要となるのかわからないのに、最初から順番にやるからつまらないのです。特に若い人が基礎をやりたがらない理由の一つです。

基礎を学んでもらうにはどうすればいいのか? 先日、私は職業能力開発センターでワードの講義をやりました。30名の生徒に、まず「ワードを何年使っていますか?」と聞きました。その結果は、1年以上が全員、5年以上が約半分、10年以上では5名が手を挙げました。そこで、A4サイズの<特別キャンペーンのご案内>というチラシを一枚配布し、「これと見た目が同じになるように文書を作ってください」と指示しました。そして、「何も文字の入っていない行は作らないこと」という、文書を作成するときの条件の一つ付け加えました。さて結果は、何とか同じようにできた人がたったの8名、条件までクリアできた人はその半分以下でした。そこで、次に文書作成の基本をいくつか徹底して覚えてもらいました。驚いたことに、これを覚えたら全員がチラシの文書ができるようになったのです。

練習を含めて2日もあれば基礎は身につきます。すると、現場の作業が楽になり面白くなります。さらによいことに、作業スピードが向上して効率が上がります。基礎を磨く気になるきっかけは次の3つです。

- ・自分がどれだけできないか、気づかせること。
- ・基礎を身につけたら、どれだけ便利なのかを理解させること。
- ・今まで疑問でモヤモヤしていた頭の中の霧が晴れるのを実感させること。

社内教育でも、ぜひ試していただきたいです。

(SO 明日への飛躍)

設備投資

全業種	H18				H19				H20				H21				H22				H23				
	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
OA機器	11	2	13	7	12	6	5	6	4	12	3	8	5	4	7	6	4	-	8	4	5				
機械設備	10	3	10	8	11	9	5	8	5	6	4	7	5	2	4	1	1	-	3	1	2				
車両運搬具	4	5	9	7	6	5	3	4	7	2	7	4	6	1	3	6	1	-	3	4	5				
建物	9	4	3	6	4	6	3	5	2	1	2	1	2	1	1	4	3	-	3	5	4				
その他		4	2	1	2	3	1	2	3	3	1	1	3	0	1	2	1	-	3	3	2				

製造業	H18				H19				H20				H21				H22				H23				
	IV	I	II	III	IV																				
OA機器	2		2		2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	-	2	1	0				
機械設備	2	1	1		1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	-	0	1	0				
車両運搬具				1		0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	1	0	0				
建物				1		1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	-	0	0	0				
その他					1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	1				

建設業	H18				H19				H20				H21				H22				H23				
	IV	I	II	III	IV																				
OA機器			2	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	1	-	1	1	2				
機械設備			1		1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-	0	0	0				
車両運搬具		1	4	2	2	2	0	1	2	0	3	1	2	1	1	0	0	-	0	1	2				
建物	1	1	1	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0				
その他		1			1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0	0	0				

小売業 (最寄品)	H18				H19				H20				H21				H22				H23				
	IV	I	II	III	IV																				
OA機器	1	1	3	2	3	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	-	0	0	0				
機械設備	1	1	3	1	2	1	1	3	0	1	1	1	1	0	1	0	1	-	0	0	1				
車両運搬具	2	1	1	1	3	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	-	1	2	0				
建物	2	1			1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	-	0	2	1				
その他						0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0	1	1				

小売業 (買回品)	H18				H19				H20				H21				H22				H23				
	IV	I	II	III	IV																				
OA機器	3					0	0	1	1	0	0	1	1	1	2	0	0	-	1	1	2				
機械設備	1				1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0	0	0				
車両運搬具	1	2				1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	-	0	1	0				
建物	1	1	2		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-	1	1	2				
その他			2			0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	0				

飲食業	H18				H19				H20				H21				H22				H23				
	IV	I	II	III	IV																				
OA機器	2	1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	2	1	1	1	0	1	-	1	0	1				
機械設備	4		4	6	5	5	4	3	2	3	2	2	1	0	3	0	0	-	2	0	1				
車両運搬具	1	1	2	1		0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	-	0	0	1				
建物	3	1		4	2	3	1	2	1	1	0	1	0	0	0	2	3	-	2	1	1				
その他	0	3				2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	-	2	2	0				

サービス業	H18				H19				H20				H21				H22				H23				
	IV	I	II	III	IV																				
OA機器	3	0	4	3	5	2	3	2	1	5	0	4	0	0	1	3	0	-	3	1	0				
機械設備	2	1	1	1	1	0	0	1	2	1	1	3	2	0	0	0	0	-	1	0	0				
車両運搬具			2	2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	1	0	-	1	0	2				
建物	2					0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	0	1	0				
その他						0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	-	0	0	0				

以上